

支部担当とすること、支部交付金のありかたなどについて考えられる効果や影響について議論がなされた。

早急に結論を出すことはせず、1月に予定されている教育・普及委員会で常任理事会での討議を参考にして夏季大学のあり方を議論してもらうほか、すでに結成されている関東地区連絡会を開催し、春季大会の担当を決める議論のなかで支部設立の問題も考えてもらうこととする。

6. 第28期第1回評議員会の開催について

遅れている評議員への委嘱手続きを至急進めると同時に、第1回評議員会の開催日について、1月30日(月)を第一候補、1月24日(火)を第二候補として評議員の都合を聞き、そのうえで日取りを決定することとする。

7. 1995年度事業計画案、予算案について

ひきつづき、各担当から来年度計画に盛り込むべき企画を受け付けることとする。

8. 平成7年度文部省研究成果公開促進費の募集について

標記科学研究費補助金のうち、「研究成果公开发表(B)」は一般社会人を対象にしたシンポジウムなどが助成の対象とされている。夏季大学(支部主催を

含む)はこの対象になると思われるので、申請したいとの提案が事務局からあり、常任理事会として討議。条件のなかに、開催日数は原則1日、参加費を徴収しない、などの夏季大学が該当しない項目があるため、申請が可能かどうかについて文部省の担当者に打診したうえ、申請する方向で事務局を中心に調整することとする。

9. 海外に留学中の学生会員の会費について

従来からの慣習で、海外留学中の会員の会費については、会費減額措置を取らず、一般会員と同額としてきた。定款や細則の規定からみて是正すべきとの提案が事務局からあり、常任理事会として討議。海外留学中の会員についても学生会員の扱いをすることとする。

これに関連して、現行の学生会員の認定があいまいであることが議論になり、今後は、会費支払い時に学生であることの証明の添付を求めることとする。この証明は存学証明書のほか、指導教官などの確認、学生証の写しなどでも良い。影響が大きいので、『天気』にお知らせを掲載するとともに、現在登録されている全学生会員にも別途通知する。通知の手順や文案については、庶務担当理事と事務局で原案を作成する。

第7回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日時: 未定(日本気象学会春季大会に合わせて行います)

会場: 未定(東京)

日本気象学会春季大会の日程に合わせて第7回のGAIM研究会を開きます。今回も招待講演と一般講演を行う予定です。地球圏と生物圏との間の相互関係を主にモデルを用いて研究されておられる方の発表を募

集いたします。希望者は3月20日までに演題を添えて下記にお申し込み下さい。

尚、参加費などは一切ありません。

申込先: 〒305 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・生物科学系

及川 武久

(TEL & FAX) 0298-53-6661